

令和3年5月24日 メルボルン交流抄

アデレードからの宇宙飛行士

米国 NASA (航空宇宙局) のスペースシャトルで宇宙に行った初めての日本人宇宙飛行士の毛利衛 (まもる) さんをご紹介します。毛利さんは今年3月まで何と20年間にわたり日本科学未来館の初代館長として多くの人々に夢と希望を与えてこられました。初代館長としていろいろとご苦労されたと思います。コロナ禍が去れば、今後は自由に世界を飛び回ることができるようになりオーストラリアにも来られることを願っています。

さて、私が1月末にメルボルンに赴任する前に、毛利さんのところへご挨拶に行きました。毛利さんは学生の頃南オーストラリア州アデレードにあるフリンダース大学大学院で「真空表面科学」という研究をされていました。その後、NASA でオーストラリア人の初の宇宙飛行士アンディ・トーマスさんと出会われます。話せば、同じ時期にトーマスさんはアデレード大学で機械工学の研究をされていたそうです。毛利さんは1992年に、また、トーマスさんは1996年に初の宇宙飛行を体験されました。アデレードから出た2人の宇宙飛行士は地元の人々の誇りになっているのでしょうか。1992年の毛利さんの初飛行の時にはフリンダース大学の副学長が毛利さんに名誉博士号の称号を届けにフロリダまで応援に来られたそうです。



今年オンラインで行われた在メルボルン総領事館の天皇誕生日祝賀行事において、毛利さんからビデオ・メッセージをいただき、日豪の宇宙協力が進展していることを熱く語っていただきました。昨年 2020 年は「はやぶさ 2」が小惑星から持ち帰った物質を入れたカプセルを南オーストラリア州のウーメラに落下させ、日豪が協力してカプセルを回収するという 10 年越しのプロジェクトがありました。毛利さんもこれを称賛されていました。

ちなみに、コロナ禍ではありますが、今年も日豪の宇宙協力が行われています。昨年オーストラリアの国花である黄色のゴールデン・ワトルの種を国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」で預り、今年地球に戻してオーストラリアに返還する予定と聞いています。この宇宙飛行した種はオーストラリアの子供たちの実験授業で使われるそうです。

いつも温厚で素人の私にも分かりやすく説明くださる毛利さんには、これからも日本とオーストラリアの子供たちに夢と希望を与えていてもらいたいです。是非とも第二の故郷であろうアデレードを再訪していただきたいと思います。その際には、先般オーストラリア宇宙庁がアデレードでオープンしたスペース・ディスカバリー・センターに立ち寄って、アンディ・トーマスさんと再会していただければいいなと思っています。

このほか、毛利さんからは AuthaGraph の世界地図を紹介いただきました。地球の見方が変わる画期的な世界地図です。これについてはまた今度書いてみたいと思います。

島田順二